

アンケートに見る「顔の左右観」

～男女の「生活意識」比較調査 96 より～

—主な調査結果—

- ・ 女性の方が顔の左右の違いを強く意識
- ・ 顔の左右にこだわる人ほど異性の魅力で「顔かたち」を重視
- ・ 高い顔の観察力を持つ女性 男性にとって顔はイメージ？

1996 11/25

ポークラ文化研究所

高谷 村澤

1. はじめに

運転免許証やパスポートなど自分の顔写真のついた身分証明書を目にした時、そこに写っているのはまぎれもなく本人、自分自身の姿でありながら、何かちょっとした違和感をおぼえることはないだろうか。真正面を向いて視線をレンズに集中した、どこかかしこまった写真に感じる違和感は、頭の中にある自分の姿とのズレからくるのではないだろうか。頭の中にある「顔」はむしろ動きのある顔、表情のある顔、左右どちらかに向いた顔のイメージではないだろうか。

プロテニスプレイヤーの松岡修造さんが登場するカード会社のCMに以前こんなものがあった。さっそうと顔写真付きのクレジットカードを出して、支払いをする松岡修造さんの顔を手渡されたカードとうわ目使いでまじまじと見比べた女性店員が「写真映りがいいんですね！」と一言。それを聞いてショックの余りガックリする松岡さん本人というもので、意気揚々とカードを差し出した時との落差が面白い。この場合は写真より実物の方が上という前提が本人にあるが、誰もが写真と実像の間にズレをいただいていることをどこか感じさせる。

「顔」とそのイメージとのズレの問題のなかから今回は「左右」ということに注目して行ったアンケートの結果を紹介する。

2. 調査の基本設計

調査対象：首都圏在住の20代～50代の男女

調査時期：96年7月

調査方法：戸別訪問による面接調査

対象人数：900人（男女各450人）

年齢区分

20代 300人（未婚100人 既婚200人）

30代 200人

40代 200人

50代 200人

3. 主な調査内容と結果

(1) 顔の左右は違うか同じか？

まずは「顔」の左、右の違いを感じているかを尋ねた。回答はごくシンプルに「違っている」「どちらから見ても同じ」の2つとした。〈全体〉では「違っている」（以下「違う」）が57%で「どちらから見ても同じ」（以下「同じ」）の43%を上回った。

グラフ1は男性の調査結果である。〈男性計〉は45%と〈全体〉での57%を大きく下回っている。〈20代未婚〉の51%、〈20代既婚〉の50%以外は、40%台前半にとどまっている。つまり男性の場合は顔の左右を「違う」と考える方がやや少数派といえる。

グラフ1



一方、女性は顔の左右の違いはどう考えているだろうか。グラフ2を見ていただきたい。〈女性計〉は69%と高く、もっとも低い〈20代未婚〉でも63%と〈男性〉をはるかに上回っている。左右の違いをもっとも強く意識しているのは〈30代既婚〉で同年代の男性の

グラフ2



41%のほぼ倍にあたる。女性にとっては左と右で顔に違いがあると意識しているのはなかば当たり前と言える。

(2) 魅力と「顔・かたち」

男性、女性で顔の左右の違いに関する意識が大きく異なり、女性の方が強く意識していることがわかった。では「違う」「同じ」の両方で「顔」を含んだ「外見」に対する考え方に差はあるだろうか。

「魅力と顔かたち」の関係やその他の質問の結果を男女それぞれの「違う」「同じ」別に見ていくことにしよう。

まずは「女性から見た男性の顔かたちと魅力」はどうだろう（グラフ3）。〈全体〉では「かなり関係する」が17%、「やや関係する」が64%となる。

男性では「かなり関係する」と答えたのは「違う」が20%、「同じ」が19%と差は小さい。両者の差は「やや関係する」と合わせても4%に過ぎない。

次に女性の答えを見てみよう。「かなり関係する」と答えたのは「違う」が17%、「同じ」が7%で、両者の差は10%と大きい。

グラフ3

| | | 女性から見た男性の顔かたちと魅力の関係は？ | | | |
|--------|--|-----------------------|--------|---------|----------|
| | | 数字は% | | | |
| | | かなり関係する | やや関係する | あまり関係ない | まったく関係ない |
| 全体 | | 17 | 64 | 17 | 2 |
| 違う【男性】 | | 20 | 64 | 14 | 2 |
| 同じ【男性】 | | 19 | 61 | 18 | 2 |
| 違う【女性】 | | 17 | 64 | 17 | 3 |
| 同じ【女性】 | | 7 | 72 | 20 | 1 |

逆に「男性から見た女性の顔かたちと魅力」はどうだろう（グラフ4）。〈全体〉では34%が「かなり関係する」と答えており、「やや関係する」と合せると90%を超える。

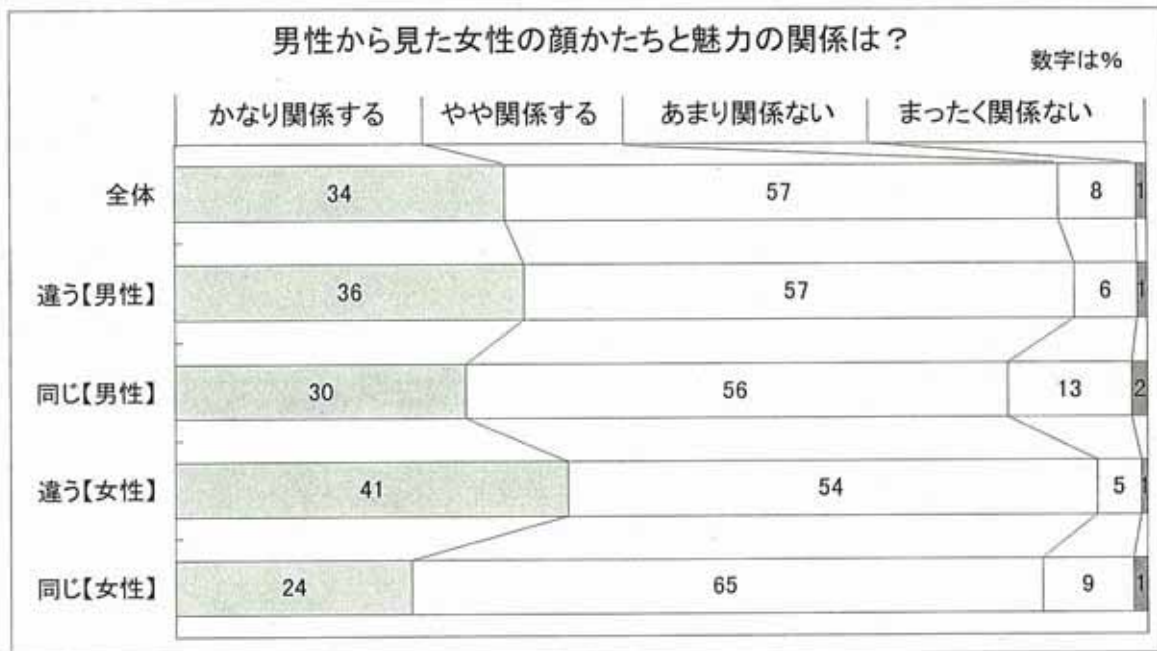
男性の答えを見ると「違う」と答えた人で「かなり関係する」としたのは36%で、「やや関係する」と合せると93%にもなり、「同じ」の場合を7%ほど上回っている。

女性の答えを見ると顔の左右が「違う」、「同じ」の両者の開きはさらに大きい。「違う」とした女性では「かなり関係する」は41%と高く、「同じ」では24%と17%もの開きがある。

女性で顔の左右が「違う」と考えている人は、男性から見た女性の魅力にとって顔かたちの大事さを強く意識している事がわかる。

また、男女を問わず顔の左右が「違う」と考えている人は、自分が異性に見られる場合も、異性を見る場合も「顔かたち」を重視している傾向にある。

グラフ4

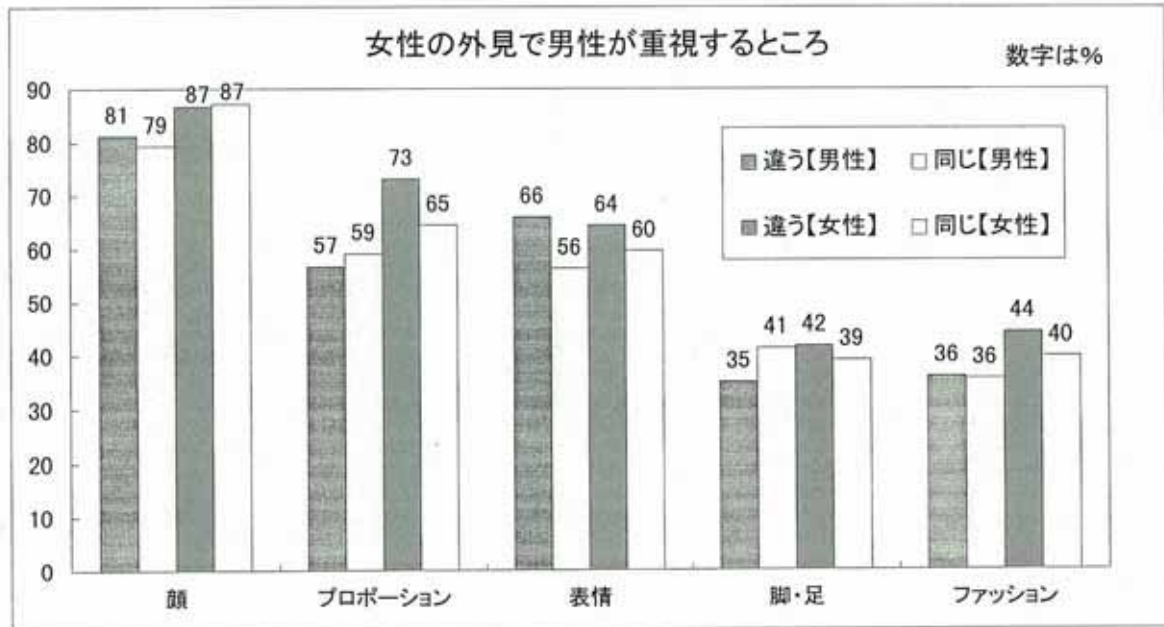


(3) 外見の重視点

では具体的な外見の重視点を、男女の「違う」「同じ」それぞれで見ていくことにしよう。グラフ5は「女性の外見で男性が重視するところ」（選択肢18より複数回答）から上位5位までの結果をまとめたものになる。

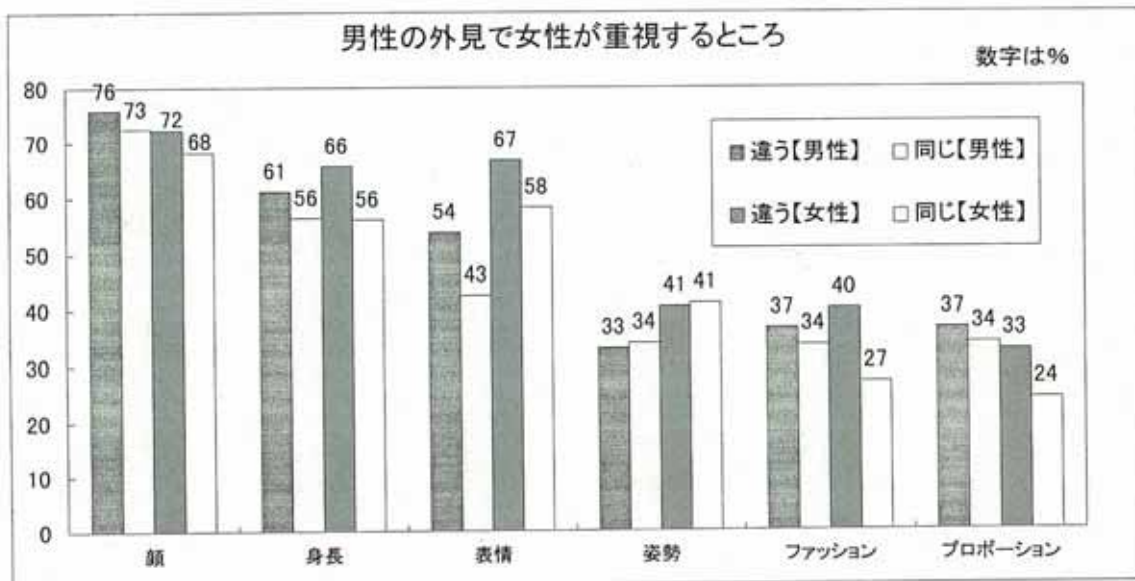
前述の「顔かたちと魅力」との関係と同様の結果となっている。女性の「違う」が〈プロポーション〉、〈ファッション〉などでもっとも高い関心を示している。

グラフ5



グラフ6は「男性の外見で女性が重視するところ」の内のベスト6になる。男女ともおむね「違う」の方が高い。

グラフ6



(3) 顔の気に入っているところと気に入らないところ

表1は「顔の気に入っているところ」、表2は「顔の気に入らないところ」を自由回答でたずねたものの中から上位の結果となっている。

まずは表1から見ていこう。男性では「違う」「同じ」の間で明確な差はない。〈目〉〈鼻〉などでは「同じ」の方がむしろ多い。一方で女性では「違う」と「同じ」で明確な差がある。「気に入っている」部分で〈目〉をあげた女性は「違う」で114人、「同じ」で44人と大きく差がある。「気に入らない」部分でも同様の結果となっている。

顔の左右が「違う」と考えている女性は、顔の各部分をじっくりと観察しているようだ。

表1 顔の気に入っているところ (数字は人数)

| | 目 | 鼻 | 口 | 眉毛 | 耳 |
|--------|-----|----|----|----|----|
| 違う【男性】 | 47 | 11 | 6 | 18 | 4 |
| 同じ【男性】 | 54 | 20 | 7 | 15 | 2 |
| 違う【女性】 | 114 | 11 | 30 | 12 | 4 |
| 同じ【女性】 | 44 | 5 | 11 | 6 | 0 |
| 全体 | 259 | 47 | 54 | 51 | 10 |

表2 顔の気に入らないところ (数字は人数)

| | 鼻 | 目 | 口 | 眉毛 |
|--------|-----|-----|----|----|
| 違う【男性】 | 27 | 27 | 8 | 7 |
| 同じ【男性】 | 32 | 32 | 11 | 11 |
| 違う【女性】 | 79 | 51 | 27 | 8 |
| 同じ【女性】 | 35 | 22 | 9 | 5 |
| 全体 | 173 | 132 | 55 | 31 |

4. 補足

調査ではこのほか「写真撮影で顔の向きを気にするか」もたずねている。結果は全体で「気にしない」が86%、「顔の右をカメラに向ける」が6%、「顔の左をカメラに向ける」が7%だった。「気にしない」が多かったためグラフは省略した。参考までに顔の左右が「違う」を見てみると、男性で「顔の右をカメラに向ける」が5%、「顔の左をカメラに向ける」が10%となっている。女性の「違う」では「顔の右をカメラに向ける」が12%、「顔の左をカメラに向ける」が15%となっている。

5. まとめ

今回の調査からは、浮び上がってきた要点を以下にあげると、

◇顔の左右にこだわる人は「外見」重視

顔の左右での違いを意識する人は、異性の魅力に関しても「顔かたち」を重視している。さらに顔だけではなく、「プロポーション」や「ファッション」など「外見」にかかわる部分に強いこだわりが見られる。

◇高い顔の観察力を持つ女性 男性にとって顔はイメージ？

男女で同じく顔の左右を「違う」と答えた人でも、男性はもう一步突っ込もうとすると具体性に欠け、男性での「違う」はあくまでもイメージにすぎないように思える。その一方で女性で顔の左右が「違う」と考えている人は細かな部位にいたるまで自分の顔をじっくりと観察しているかに思える。

◇顔に対するこだわりが「左右観」に現れる

これらの結果に加えて調査対象者の顔の実際の左右差を合わせて検討していくことは必要かもしれない。しかし、調査結果から考えてみると、実際の顔がどうであろうと、顔に対する意識が高い人ほど左右での違いを強く意識していると考えられる。とくに同じ「違う」と答えた人の中でも男女別に見るとに大きな意識差があることや、「気に入っている部分」や「気に入らない部分」での「同じ」「違う」の両者での顕著な差など、顔の左右に対するこだわりが実際の顔の左右の違いそのものと直接に結びつくとは考えにくい。

といったことがあげられる。

このリリースの冒頭で、現実の顔と自分の持つ顔のイメージの違いに触れたが、イメージによりかかっている度合いが大きい男性の方がそのギャップはいっそう大きいのかも知れない。一方で日常的に化粧、とくにメイクアップを通じて自分の顔と向き合っている女性の顔意識の高さが浮き彫りにされたといえる。